

国際ロータリー第2530地区東北第一分區



# 福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺通65-2 ギャラリーアール1F20号  
tel:024-548-3793 fax:024-548-7878  
総合室/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町4-30  
tel:024-629-3811(fax) fax:024-629-0375  
HPアドレス http://www.nskn.jp/~rotary/index.html

●会長 黒羽好夫 ●副会長 佐藤 俊 ●事務局長 金子 朝男 ●幹事部長 村上 光一 ●副幹事部長 長谷川 英行 ●丹治 智幸 ●丹治 洋子 ●副田 健史



地域を育み 大陸をつなぐ

2010年-2011年R1テーマ

<b>第12回例会</b>	平成22年9月29日(水) サンパレス福島 ■メークアップ/26名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/41名 ■出席率/61.20%				
<b>本日のプログラム</b>	7 閉会点鐘				
1 開会点鐘					
2 ロータリーソング (我らの生業)					
3 四つのテスト					
4 来訪者紹介と会長挨拶					
5 幹事報告					
6 各委員会報告					
<b>今月・来月のプログラム</b>	<table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>10月17日(日)地区大会 (パルセ飯坂)</td> <td>10月20日(水)振り替え休日・IAC例会</td> </tr> <tr> <td>10月6日(水)大橋ガバナー公式訪問・ガバナー補佐訪問</td> <td>10月27日(水)(ハッピーケア職場訪問)</td> </tr> </table>	10月17日(日)地区大会 (パルセ飯坂)	10月20日(水)振り替え休日・IAC例会	10月6日(水)大橋ガバナー公式訪問・ガバナー補佐訪問	10月27日(水)(ハッピーケア職場訪問)
10月17日(日)地区大会 (パルセ飯坂)	10月20日(水)振り替え休日・IAC例会				
10月6日(水)大橋ガバナー公式訪問・ガバナー補佐訪問	10月27日(水)(ハッピーケア職場訪問)				

### ◆会長挨拶◆

黒羽 好夫 会長 「ロータリーの原点に帰ろう！」



まず、最初に阿久津肇パストガバナー、佐藤俊パスト会長には、本日の会員セミナーの講師を務めて頂きまして、誠に、ありがとうございます。

佐藤俊パスト会長には、退会後も、何かにつけて、ご指導、ご鞭撻を頂きまして、誠に、ありがとうございます。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。また、本日の会員セミナーでは 私たちが知らない福島南ロータリークラブ誕生のいきさつを、詳しくお話し頂きまして、大変、勉強になりました。現在、当クラブには67名の会員がおります。しかし、ここ10年以内に入られた会員が35名と、当クラブの詳しい歴史を知らない会員が増えておりますので時節に合った内容でありました。本当に、参考になったことと思います。

また、阿久津パストガバナーには、お多忙中にもかかわらず、お出で頂きまして、誠に、ありがとうございます。10月16日、17日に行われる地区大会のエイドの大役も、お引き受け頂きまして、大変、感謝しております。ロータリーの生い立ちから、ロータリーの精神と、私たちロータリアンが、常に、頭に入れておかなければならないことをお教え頂きました。誠に、ありがとうございます。本日は、今年度二度目の夜間例会となります。しかも、新会員歓迎会を開催することが出来ることは、大変、うれしいことです。今年度も、新会員が入会して頂いたからこそ出来るのです。新会員の皆さまは、すでに、ロータリー活動に積極的に参加して頂いており、今後もより一層のご活躍を期待しております。

ロータリークラブの目的であります奉仕活動を実践するための原動力は、ロータリアンであります。その奉仕を目的としたロータリアンが、沢山、入会して頂くことこそが、より良い奉仕を進めることとなります。是非、奉仕の仲間を誘って頂きたいと思っております。

### ◆新会員歓迎会◆

新会員として、2名の方がご登壇されました。東邦銀行南福島支店勤務の佐藤勝宣会員と、近畿日本ツーリスト福島支店勤務の須田敏光会員です。おふたりそれぞれが、今後のロータリアンとしての抱負

を述べ、かつ、華麗なダンスパフォーマンスも披露されました。



### ◆会員セミナー◆ 佐藤 俊 パスト会長

『福島南ロータリーの誕生から』というテーマで、公式記録が全くない南クラブが誕生するまでの背景や過程について話を致します。

1969年当時、福島市には福島と福島北とがあり、もう1つのクラブ設立機運が高まりました。はじめは、福島西クラブの設立を目指したのですが、様々な議論の末、福島南クラブ設立が現実味を帯びて来たのが、1970年でした。

福島クラブの20周年記念事業として位置づけられ、大原特別代表が任命されたのでした。当時の南地区は商工業の発展が目覚ましく、クラブ誕生の好条件の地でした。福島クラブから、これも様々な経過を辿り、4名のキー・メンが選出され、1971年3月31日、30名のチャーターメンバーにより、福島クラブがホストクラブとして、福島北クラブの協力によって、福島南クラブは設立されたのでした。さらに、設立して8日後の1971年4月8日には、RIから認証がされ、(仮)がとれ、正式に福島南ロータリークラブとなったのです。

### ◆会員セミナー◆

阿久津 肇 パストガバナー



『ロータリーの生立ちとその精神』というテーマで、2部構成でのセミナーを開催頂きました。約1時間の内容を要約編集し、掲載致します。

「ロータリーの歴史を遡って行くとそもそもの発端は、ポール・ハリスという青年弁護士頭の脳に宿

った一滴の発想が原点である」から、創始者のポール・ハリスの生立ちをお話頂きました。ポールが、弁護士として開設したシカゴにおいて、4名の仲間が出会い、話し合い、今までのどんな組織とも違うクラブの結成を討議し合った。そのような様を捉えて、阿久津パストガバナーは、ロータリーの発端は、田舎出身の4名の寂しさであると話されました。ロータリーという名称は、ローテーションで会合を開くからロータリークラブと決まったのでした。

最初の綱領は2カ条からなるものだったが、勧誘をしたドナルド・カーターから「職業を持って社会に貢献することが自分の生き方であり、自分たちだけの利益にこだわって社会に何にもしない団体に将来性も魅力もない」と断られる事件が起こり、第3条として奉仕の概念が付け加えられたのでした。

組織が拡大するにつれ、全米の連合会、国際連合会、国際ロータリーへと拡大を遂げる共に、幾度かの路線対立を経験し、現在に至ることを学びました。さらに、日本におけるロータリークラブ設立のきっかけと経過について学ぶ機会となりました。

第2部として、「ロータリーは時代と共に変遷しなければならないが、しかし、その中で変えなくてはならないロータリーの原理原則」についても触れて頂きました。その中で、例会時に唱和する「4つのテスト」の原文と日本語訳とのギャップについてお話し下さり、最後に、「ロータリーは、基本的には、1つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に、常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―『超我の奉仕』の哲学であり、これは『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』という実践的な倫理原則に基づくものである。」とまとめられました。

### ◆スマイリングボックス◆

- 本日は、お招きいただき有難うございます。少しでもお役に立てばと願っています。
- 阿久津肇 パストガバナー
- 皆さんにお会いしたので。 佐藤俊 パスト会長
- 阿久津先生、佐藤俊先生、本日はありがとうございます。 黒羽好夫 会長
- 阿久津パストガバナー、佐藤俊元会員を歓迎して金子興安 会員
- 新会員入会おめでとうございました。高橋和之 会員
- お祝い。 野地利雄 会員
- 本日のセミナーに感謝します。 林 克重 会員
- 須田さん、佐藤さん入会御目出とう。 廣澤俊樹 会員

スマイル 38,000円 累計 467,701円  
財団・米山 33,000円 累計 499,000円

### ～私の職業の目的～ 太田 久雄 会員

人間を救うのは人間である。人間の生命等を守る活動を展開する。

### 一編集後記一

会員セミナーから参加させて頂き、ロータリーの歴史を学ぶ新鮮で深い例会となりました。(丹治ト)